

第1章 研究の背景と目的	1
第1節 研究の背景と概念整理	2
1. 1 コミュニケーションに関する諸問題	
1. 2 情動知能とは	
1. 2. 1 知能研究からの背景	
1. 2. 2 情動知能の概念について	
1. 3 国内の情動知能研究	
第2節 情動知能測定尺度	7
2. 1 国外における情動知能の測定尺度	
2. 2 日本独自の情動知能尺度 (EQS)	
2. 3 情動知能尺度 (EQS) の構成概念妥当性	
2. 3. 1 EQS と精神健康状態 (GHQ60) との関係	
2. 3. 2 EQS と 5 因子性格検査との関連性	
第3節 運動経験と情動知能	12
3. 1 運動経験による心理的効果	
3. 2 運動経験と情動知能の発達	
3. 3 児童期の運動経験	
3. 4 指導者の運動指導場面における情動知能への意識	
第4節 本論文の目的と構成	18
4. 1 本論文の目的	
4. 2 本論文の構成	
第2章 大学生の運動経験と情動知能の関連	21
第1節 大学生の運動経験と情動知能の縦断的变化 (研究1)	21
1. 1 目的	
1. 2 方法	
1. 2. 1 調査対象者	
1. 2. 2 調査項目	
1. 3 結果	
1. 3. 1 運動経験の分析	

1. 3. 2	大学生の情動知能の縦断的な変化と運動部所属要因との関連	
1. 4	考察	
第2節	大学生の過去の運動経験による情動知能への影響（研究2）	29
2. 1	目的	
2. 2	方法	
2. 2. 1	調査対象者と調査時期	
2. 2. 2	調査内容	
2. 3	結果	
2. 3. 1	対象者の運動経験と情動知能	
2. 3. 2	各時期の運動経験が情動知能に及ぼす影響	
2. 4	考察	
2. 4. 1	対象者の運動経験と情動知能	
2. 4. 2	運動経験が情動知能に及ぼす影響	
第3章	児童期の運動経験と情動知能の関連	43
第1節	児童期の運動系の習い事と情動知能の関連性（研究3）	44
1. 1	目的	
1. 2	方法	
1. 2. 1	児童への情動知能と習い事に関する調査	
1. 2. 2	指導者による情動知能の他者評価の調査	
1. 3	結果	
1. 3. 1	習い事に関する結果	
1. 3. 2	EQSCに関する結果	
1. 3. 3	EQSC 教師評価版との関連	
1. 3. 4	EQSC と習い事との関連	
1. 3. 5	運動系の習い事が EQSC に与える影響	
1. 4	考察	
第2節	児童期の運動経験がもたらす情動知能への短期縦断的検討（研究4）	55
2. 1	目的	

- 2. 2 方法
 - 2. 2. 1 調査対象者と調査時期
- 2. 3 結果
 - 2. 3. 1 運動能力の変化
 - 2. 3. 2 教室の効果と EQSC の関連
 - 2. 3. 3 教室参加による男女差
 - 2. 3. 4 教室前後の EQSC 得点の変化と男女差
- 2. 4 考察

第 4 章 小学校教員の体育授業における情動知能と指導法に対する意識・・・65

(研究 5)

- 1 目的
- 2 方法
 - 2. 1 調査対象者ならびに分析方法
 - 2. 2 調査内容
- 3 結果
 - 3. 1 EQSC 教師評価版尺度と体育への意識
 - 3. 2 指導法に関する意識調査
 - 3. 3 体育の授業と情動知能の効果的な向上の意識の関わり
 - 3. 4 EQSC 教師評価版と指導法やコミュニケーションとの関連
- 4 考察

第 5 章 総合考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76

第 1 節 本論文で得られた新たな知見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77

- 1 本研究の目的の再考
- 2 運動経験と情動知能の関連の縦断的な検討
- 3 過去の運動経験と児童期の運動経験が情動知能へ与える影響
- 4 運動経験がなぜ情動知能と関連を持つと考えられるのか
- 5 性別による運動経験と情動知能の関連の違いについて
- 6 指導者による情動知能への意識と指導法との関連

第 2 節 研究の課題と今後の展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

第 6 章 結語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

引用文献

謝辞